

## 動静管理アプリケーション（MARITIME 7）導入 ～ オペレーション業務の効率化・船陸負担低減を目指して～

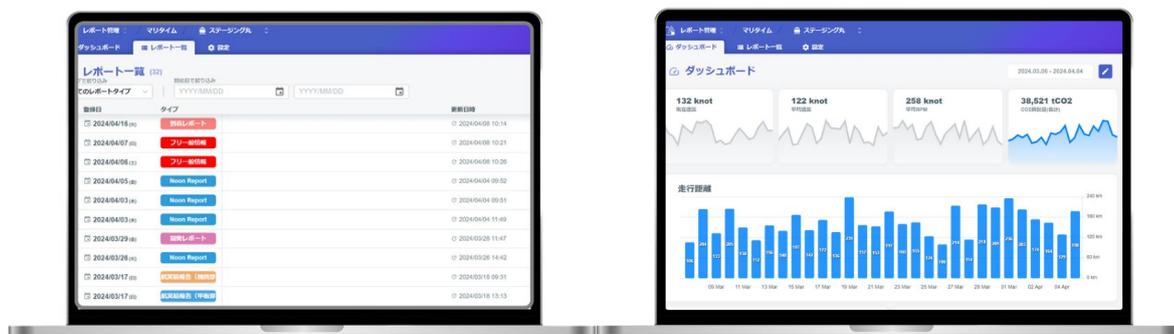
株式会社商船三井内航（社長：小林洋、本社：東京都港区）は、オペレーション業務の効率化と運航状況の迅速な把握を目指して、株式会社ザブーン（注1）（以下「ザブーン社」）が開発した船舶管理プラットフォーム「MARITIME7」のレポート機能（動静管理アプリケーション）の導入を決定しました。

内航船の運航管理において本船の動静情報、位置情報、機関出力、燃料消費量等、様々な運航に関する情報処理が必要となりますが、これまではFAX・紙を中心とした様々な媒体でのやり取りが行われており、船陸双方担当者の負担になっておりました。

MARITIME7のレポート機能（動静管理アプリケーション）を導入する事で、様々なオペレーション情報をクラウド上で統合管理を行う事が可能となります。内航・外航に関わらず貨物の海上在庫管理の観点から本船ポジションの常時把握は重要であり、環境・経済の観点から効率配船は重要な経営課題となります。MARITIME7導入により動静可視化と効率的運航の実現が可能になります。また、履歴データの蓄積と日報を含む様々な情報の一元的管理は船毎の長期運航分析による性能評価や保守にも寄与するものと考えております。

加えて、MARITIME7はデータの活用の際にカスタマイズ性が高く、例えばダッシュボード機能で航海毎の燃料消費量の可視化も可能です。外航船と同様に将来内航船でも環境対応として把握が求められる可能性があるCO2排出情報の管理も簡易に可能となり、当社が運航するLNG燃料船や間もなく竣工するメタノール燃料船等をはじめとした環境対応船の環境寄与度見える化も行いたいと考えております。

なお、(株)商船三井のコーポレートベンチャーキャピタルである(株)MOL PLUSが先月ザブーン社への出資を決定しております（注2）。若い世代にとって内航海運をより魅力的な業界とすべく、当社は商船三井グループ各社と連携して、デジタル化による業務の効率化の推進に努めて参ります。



(註1) 株式会社ザブーン

会社名	株式会社ザブーン
代表者	戸高克也
設立	2018年
本社所在地	東京都港区新橋1丁目11-2
事業内容	・ MARITIME7 の開発・運用 ・ 船員特化型求人サイト「FUNAGUNI」の運営

ホームページ：<https://zaboon.com/>

(註2) 関連プレスリリース

<https://www.molplus.net/blog/74716c13e02?categoryId=381>

以上

商船三井グループが設定した5つのサステナビリティ課題

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題(マテリアリティ)」を特定しています。

